

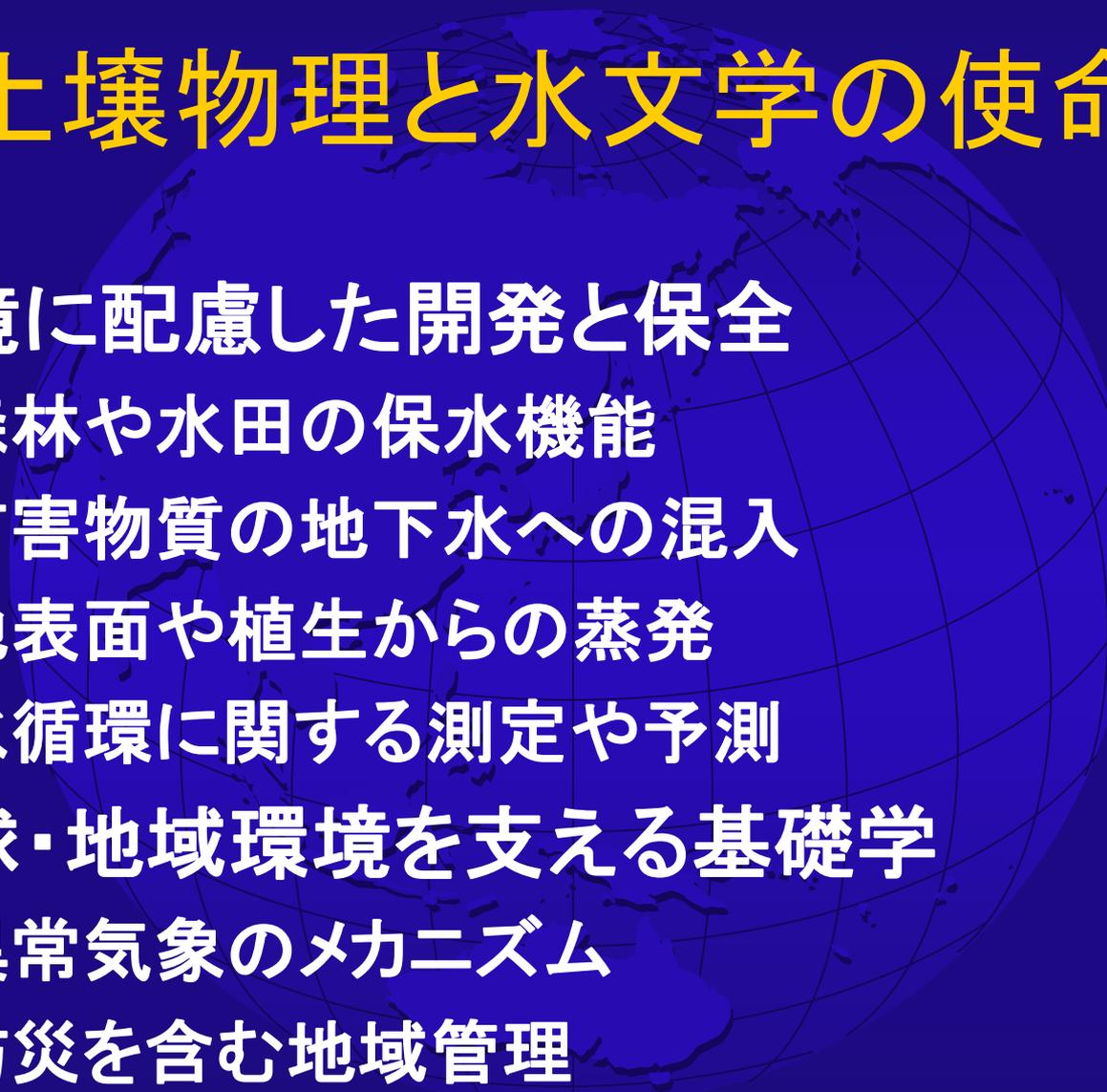
1998.10.1
土壤物理研究部会
@東京大学



— 土壤物理と水文学 —
— 本集会の意義 —

溝口 勝
三重大学生物資源学部

土壌物理と水文学の使命

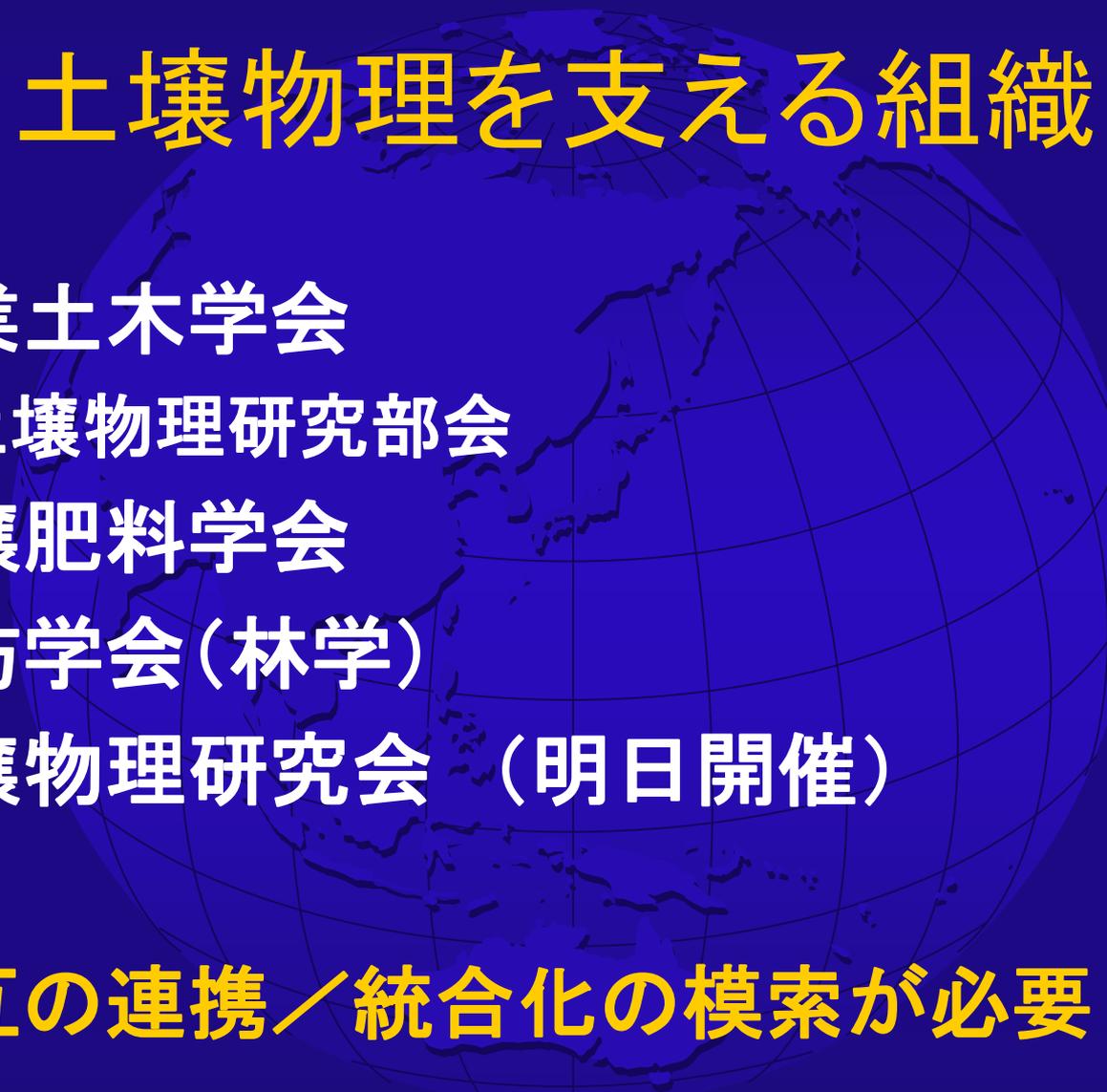


- 環境に配慮した開発と保全
 - 森林や水田の保水機能
 - 有害物質の地下水への混入
 - 地表面や植生からの蒸発
 - 水循環に関する測定や予測
- 地球・地域環境を支える基礎学
 - 異常気象のメカニズム
 - 防災を含む地域管理

土壌中の水の流れを扱う 学問の発展

- 土壌物理学
 - ミクロな機構論に行き過ぎた？
- 水文学
 - パラメータ操作（農業土木学の場合）？
- 学問の細分化が進んだ？ 棲み分け？
 - 学問の統合化が必要

土壤物理を支える組織



- 農業土木学会
 - 土壤物理研究部会
- 土壤肥料学会
- 砂防学会(林学)
- 土壤物理研究会 (明日開催)
- 相互の連携／統合化の模索が必要

本集会の目的と特徴

- 土壌物理研究の方向性
- 研究テーマの掘り起こし
 - 土壌物理学と水文学と接点
- 関連分野の方々に広く呼びかけた
 - 自主参加型の集会
 - インターネットの利用
 - 農業土木学以外の分野からの参加

集会の進め方

- 13:00-15:30 口頭発表 会場1 (7-115)
- 15:40-17:00 ポスター発表 会場2 (7-113)
- 17:00-17:30 総合討論 会場1 (7-115)
- 17:30-19:30 懇親会 会場2 (7-113)

それでは、始めましょう！

